

百人一首 (うたばんごう 歌番号:86 ~ 90)

見せばやな
雄島のあまの
袖だにも
濡れにぞ濡れし
色はかはらず

いんぶもんいんのたいふ
殷富門院大輔



玉の緒よ
絶えなば絶えね
ながらへば
忍ぶることの
弱りもぞする

しよくしなしいしんのう
式子内親王



難波江の
蘆のかりねの
ひとよゆゑ
みをつくしてや
恋ひわたるべき

こうかもんいんのべんご
皇嘉門院別当



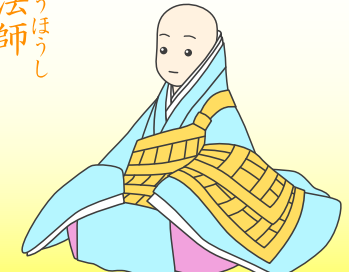
村雨の
露もまだひぬ
槇の葉に
霧たちのぼる
秋の夕暮

じゃくれんほうし
寂蓮法師



嘆けとて
月やは物を
思はする
かこち顔なる
わが涙かな

さいぎようほうし
西行法師



ぬれにぞぬ
かれしいろは
かわらず

しのぶるこ
とのよわり
もぞする

みをつくし
てやこいわ
たるべき

きりたちの
ぼるあきの
ゆうぐれ

かこちがお
なるわがな
みだかな